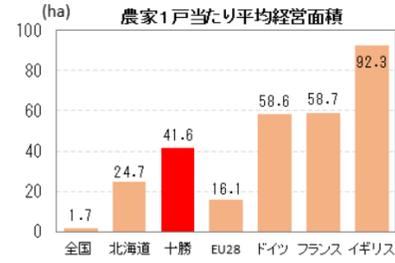


□ 地域産業の現状

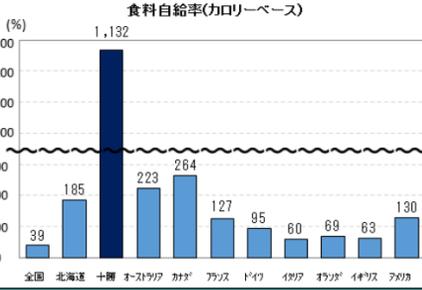
(1) 十勝の農林水産業の現状

- 約26万haの耕地面積
○年間2,000時間を超える日照時間
○EU農業圏水準の1戸当り平均耕地面積
○生産性の高い土地利用型農業
○十勝管内農業産出額は約3,320億円
○約1,132%の圧倒的な食料自給率
○総面積の約64%を占める森林面積
○平成29年度漁獲高は約58億円



(2) 食・農林漁業関連産業の現状

- 製造品出荷額等に占める食料品製造業の割合は68.4%
○観光入込客数は増加傾向、北海道内シェアは横ばい
○道東自動車道や増築したとちまち帯広空港などの活用
○成長分野である環境・健康・福祉・医療等の振興



(3) 試験研究機関・研究開発等の現状

- 大学や公設・民間研究機関、企業等の集積
○中核的産業支援機構による地域産業振興の支援
○研究開発や多様な主体の連携・協働による取組

□ 地域産業政策の必要性

- 自らの意思と責任に基づき、地域産業の振興を通して発展基盤を強化する必要がある
○経済のグローバル化の進展、世界的な食料需給環境の変化、食の安全・安心に対する関心の高まりにより、地球規模での環境問題等に対応する必要がある
○地域特性や優位性等の強みを活かし、農林漁業・関連産業を中心に、産業間連携強化の必要がある
○付加価値の高い商品開発や、起業化等による域外市場産業の育成等を通して、産業振興や雇用の拡大をはかる必要がある
○十勝全体がスクラムを組み共通の戦略構築と合意形成をはかり、事業を展開する必要がある

□ 「フードバレーとまち」の展開方策（3つの柱・19の施策）

Table with 3 columns: 農林漁業を成長産業にする, 食の価値を創出する, 十勝の魅力を売り込む. It lists 19 strategies across these categories.

□ 「フードバレーとまち」の基本方向

- 食や農林漁業に関する産業集積は、比較優位性があり競争力のある分野
○農林漁業と生産・加工・販売等の連携による十勝型フードシステム形成を推進
○十勝の経済成長戦略として推進しアジアの食と農林漁業の集積拠点を目指す
○フードバレーとまちの旗印のもとに、自主・自立の地域経済の確立を目指す

□ 推進体制

- 十勝管内の42関係団体等で構成する「フードバレーとまち推進協議会」
○とちまち財団と連携し、生産者・企業・団体等の総合窓口として、プラットフォーム機能、コーディネーター機能を発揮
○各町村は生産者や企業等の相談や、協議会構成団体と連携して対応
○協議会の構成団体・機関等が連携し、食と農林漁業に関する取り組みを進めるための環境づくりを推進

施策の取り組みの方向性



フードバレーとまち

1 フードバレーとまちの施策展開（戦略プラン）について

- 推進プランの施策の柱立てに基づき、施策の取り組みの方向性を示すもの
○定住自立圏共生ビジョンに盛り込まれた関連事業や市町村が連携した取り組みを展開
○協議会のプラットフォーム機能を活用し、生産者や企業等との多様な結びつきにより推進

2 施策の取り組みの方向性

農林漁業を成長産業にする

戦略1 生産振興 ～食料生産力を伸ばす～

- 環境負荷軽減に配慮した環境保全型農業の取り組み
○地域の実情に即した経営多角化
○自給飼料生産の拡大と品質向上
○関係機関と連携した鳥獣害防止対策
○漁業特性等に合わせた稚魚等の放流、漁場の育成
○森林の整備・保全等と特用林産物の生産振興

戦略2 生産基盤整備 ～活力ある食生産の基盤をつくる～

- 災害に強い農地整備、農業農村整備や治水等の取り組み
○生産基盤の適切な維持管理と生産性や収益性の確保
○品種特性等に応じた農産物集出荷貯蔵施設等の整備促進
○水産業活動拠点となる水産基盤等の整備
○森林資源の維持造成

戦略3 担い手育成 ～未来を担う生産者を育てる～

- 生産技術や経営管理手法等の研修実施等担い手育成
○農林漁業者、就業希望者への情報提供等新規就労・参入者支援
○農林漁業と商工業の担い手の連携促進

戦略4 試験研究機関との連携 ～知的機関とスクラムを組む～

- ICT・IoT・AI技術等、先駆的農業の共同研究や連携強化
○開発中の新品種・技術の研究開発等の関係者への迅速な提供
○産学官連携の取り組みや開発製品情報等を消費者などへ提供

戦略5 農林水産物の安全・安心の確立 ～食の安全安心を確保する～

- 適性施肥や耕畜連携、有機質資材活用等によるクリーン農業の促進
○エコファーマー認定制度や北のクリーン農産物表示制度等の認定や登録の促進
○家畜伝染病防疫対策や畜舎環境の配慮等の家畜衛生管理の充実・強化
○GAPやHACCP等を導入した管理促進やトレーサビリティの促進

食の価値を創出する

戦略6 製品・研究開発 ～とちまちの食の価値を探り出す～

- 研究成果や地域資源等を活用した共同研究、新製品・技術等の開発支援
○企業間連携機会提供等による新製品・技術開発促進

戦略7 創業・企業立地 ～とちまちの価値を活かして起業する～

- 創業・起業家に対する支援体制の充実
○創業・起業環境の整備
○首都圏等への企業誘致PR活動
○産地立地型企業等誘致や地場企業規模拡大等の促進

戦略8 経営基盤強化 ～とちまちの企業力を高める～

- 支援制度等の情報提供、事業承継・事業再生の支援
○生産者や企業等の資金繰り制度の充実・周知
○企業等の新分野進出支援や経営多角化等の支援

戦略9 人材育成 ～とちまちの食の価値を活かす人を育てる～

- 創業・起業、経営多角化等を担う人材育成
○製品開発技術講習の開催や製品開発スキルの向上促進
○農商工連携や6次産業化に資する人材育成
○経営力や生産性向上等の技能を持つ人材の育成・確保

戦略10 ブランド化推進 ～とちまちのブランド力を活かす～

- 十勝ブランド認証機構支援、地場産品ブランド化促進
○企業や団体等の知的財産活動の支援
○地域ブランドに関する取り組みの情報共有・収集

戦略11 連携促進 ～プレイヤーの結びつきを深める～

- 試験研究成果を活用する団体・企業等との連携促進
○生産者・団体・企業等との農商工連携機会の提供
○地域内外の関係団体・企業間の連携機会の提供

戦略12 関連産業群の集積～とちまちの価値を活かす産業を集積する～

- 地域資源、機械・金属、環境・リサイクル等の関連産業立地支援
○新たな機能的食品の開発や食の健康価値創出の取り組み支援
○自然エネルギーの研究開発や産業化支援
○新しい技術を活用した食関連施設の立地促進

十勝の魅力を売り込む

戦略13 十勝の魅力を発信 ～とちまちの価値を発信する～

- 各種メディアを活用した国内外へ十勝の魅力発信
○国内外での観光客誘致プロモーション活動
○海外メディア招聘による十勝の情報発信
○十勝管内の祭りやイベント情報を一体的に発信

戦略14 食・農林水産物情報の発信 ～とちまちの食を広める～

- 食関連イベントと連携した農林水産物等の情報提供
○様々なメディアを活用した食や農林漁業関連情報の発信
○ビジネスマッチングによる商品情報提供や販路拡大

戦略15 観光振興 ～とちまちに人を呼び込む～

- 地域食材を活かした観光の振興
○産業と観光が結びついた産業観光促進
○観光案内所や鉄道駅、空港、道の駅等を活用した情報提供
○広域観光や滞在型・体験型観光の促進
○観光関連団体と連携したイベントや観光PRの促進

戦略16 物産振興 ～とちまちのモノを売り込む～

- 農林水産物・加工品等のPR促進
○商談会開催や展示会等出展支援による物産振興
○物産展開催等による農林水産物や加工品の販売促進

戦略17 流通・販路拡大 ～とちまちの食を国内外に広める～

- バイヤーとの商談機会提供等による販路開拓
○展示会・物産展、ビジネスマッチング等への出展支援
○農林水産物や食品等の輸出拡大促進
○十勝管内・他地域との流通網の整備促進
○港湾等の整備促進

戦略18 食育の推進 ～とちまちの食生活・文化を育む～

- 地元食材の普及、食の安全・安心に対する理解促進
○農林水産業・食産業・食文化等への理解など食育の取り組みを推進

戦略19 地産地消の推進～とちまちでつくり、とちまちで食べる～

- 地産地消に関する情報の入手環境整備
○食関連イベントとの連携による地産地消推進
○十勝が連携した地産地消の取り組みを推進

3 関係団体・機関の取り組み

農林漁業団体の主な取り組み

- 十勝地区農業協同組合長会
JAネットワーク十勝の設置
生産履歴・GAPの取り組み
十勝和牛商標登録によるブランド化
「Made in 十勝」ブランド推進事業など
●十勝管内漁業協同組合長会及び十勝地区森林組合振興会
とちまち産業団体協議会への参加など

金融機関の主な取り組み

- 帯広銀行協会及び日本政策金融公庫帯広支店
融資・ビジネスマッチング・販路拡大など
●帯広信用金庫
販路開拓・拡大のための商談会の開催・出展支援
マーケティングの専門家と連携する大学・研究機関との各種相談会の実施
おびしん地域経営塾による経営者育成や地元高校生向け人材育成支援
産学官・農商工と金融の連携による各種プロジェクトの推進

商工業団体の主な取り組み

- 帯広商工会議所
とちまち産業団体協議会の設立
Myとちまち推進運動の展開
「とちまちマルシェ」を核とした観光振興事業など
●北海道中小企業家同友会とちまち支部
十勝農商工連携会等の設置
農商工連携人材育成セミナーの開催
海外販路開拓事業
高校生の就業支援など
●北海道中小企業団体中央会十勝支部
オール十勝の活動の普及啓発活動
関係団体との連携強化など
●北海道十勝管内商工会連合会
地域振興事業の支援
夢Landとちまちブランド認証など
●十勝観光連盟、帯広物産協会
オール十勝体制での観光や物産振興
とちまち物産センター等における十勝ブランド形成推進など

大学・試験研究機関の主な取り組み

- 帯広畜産大学
JICA研修員や技術者等の受け入れ
国際的大学間学術交流協定等
地域連携推進センターによる受託研究や共同研究
フードバレーとちまち人材育成事業の実施など
●とちまち財団
試験研究機関や企業等と連携促進
人材育成事業「十勝ビジネス支援プロジェクト」の実施
●農研機構北海道農業研究センター
秋まき小麦、馬鈴薯、てん菜、そばの品種改良
大規模輪作生産システムの確立
ICT等利用による精密・低コスト大規模農業の技術開発など
●家畜改良センター十勝牧場
肉用牛育種改良、乳用牛優良品種牛育成・供給
めん羊繁殖技術開発、飼料作物種子増殖、原種供給など
●十勝農業試験場
大豆等の品種改良、作物栽培、病害虫の試験研究
土壌肥料、経営、農業機械等の研究など
●畜産試験場
肉牛等の育種改良
家畜疫病予防、受精卵移植の研究
飼料作物栽培及びふん尿処理等の研究など

- 独立行政法人国際協力機構北海道センター(帯広)(通称:JICA北海道(帯広))
開発途上国からの研修員受入や青年海外協力隊員の派遣などの技術協力、無償資金協力、有償資金協力(円借款)などの国際協力事業

行政機関の主な取り組み

- 帯広開発建設部
治水、道路、港湾などの整備
農業農村整備、水産基盤整備など
●十勝総合振興局
「食の拠点」とちまち強化プロジェクト
「ひがし北海道」広域観光プロジェクト
「次世代先進産業」とちまちチャレンジプロジェクト
「多様な人材の活躍」とちまち支援プロジェクトなど

4 フードバレーとまちの施策の進め方

- 協議会のプラットフォーム・コーディネーター機能の発揮
○協議会の構成メンバーの連携
○各市町村独自の取り組みの実施
○テーマごとに連携した取り組みの実施
○国際戦略総合特区などの国の支援制度等の活用